

**2017年 9月改訂(第4版・新記載要領に基づく改訂)

*2016年10月21日改訂(第3版)

機械器具 6 呼吸補助器
管理医療機器 加温加湿器(JMDNコード 70562000)
「HC150加温加湿器」の付属品
加湿チャンバー HC325

**【警告】

- 給水後は速やかに呼吸回路を加温チャンバーへ再接続すること[加温加湿器をバイパスし、呼吸回路を直結で接続し、加温加湿器の電源を入れたままの状態では長時間放置した場合、呼吸回路を加温加湿器に再度接続することにより患者に熱傷等の健康被害が発生するおそれがあるため]。

**【禁忌・禁止】

- 本品は同一患者以外に再使用しないこと。

【形状・構造及び原理等】

1. 形状



2. 加湿チャンバー仕様

Part No.	HC325
最大貯水量(mL)	480
最大圧縮容量(mL)	720
最大作動圧(kPa)	20
ガスリーク(mL/分)	10 以下
コンプライアンス(mL/cmH ₂ O)	0.7

3. 動作原理

加温加湿器のヒートプレートを加熱することにより加湿チャンバーの水から水蒸気を発生させ、ガス供給源より加湿チャンバーに取り込んだガスを加湿する。加温加湿器の電源コードに設置された周囲温度センサにより室温を検知し、自動的にヒートプレートの温度調節を行うことにより、送気チューブ内の過剰な結露を最小限に抑えつつ加湿を行う。

【使用目的又は効果】

本品は人工呼吸器等から送られる患者回路内のガスを加温加湿する装置である。

**【使用方法等】

- ガスポートより本品の最高水位線まで滅菌精製水を入れる。
- 加温加湿器の手前にある保護ガードを押し下げて本品を加温加湿器のヒートプレートの上にセットする。
- ガス供給源および患者インターフェースに接続する送気チューブにアダプタを接続し、本品のガスポートに接続する。

使用方法等に関連する使用上の注意

- 人工呼吸器などに加温チャンバーを接続する前に給水すること。
- 加湿には滅菌水あるいはそれに相当する蒸留水を使用すること。
- 37℃を超える温度の水を本品に入れないこと。
- 表記されている水位レベル記号を参照し加湿チャンバーの水位を常に確認し、必要に応じて水を補給すること。給水の際、最高水位線を越えないようにすること。

<水位レベル記号>

適切水位	不適切水位
水位が最高水位線以下	水位が最高水位線より高い

- 加湿チャンバーに給水する際には、事前に加温加湿器から加湿チャンバーを取り外すこと。
- 落としてしまった加湿チャンバーは外観に傷がなくても使用しないこと。

**【使用上の注意】

重要な基本的注意

- 患者より低い位置に本品をセットした加温加湿器を設置すること[結露した水が患者側に流れ込み、患者に健康被害が発生するおそれがあるため]。
- 加湿チャンバーのベースプレートおよび加温加湿器のヒートプレートには触れないこと[火傷するおそれがあるため]。

不具合・有害事象

- 重大な不具合
回路接続部の緩み・外れ、閉塞、ガスリーク、破損
- 重大な有害事象
低酸素血症、圧外傷、無気肺
- その他の有害事象
火傷、感染症、アレルギー反応

**【保守・点検に係る事項】

使用者による保守点検

- 加湿チャンバー本体およびベースプレートを中性洗剤で洗浄し、十分にすすいだ後、乾燥させる。
- 消毒する場合は、酢酸溶液(酢と水を 1:10 の割合で攪拌したもの)に加温チャンバー本体を 10 分間浸し、十分にすすいだ後、乾燥させる。

**【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

Fisher & Paykel
HEALTHCARE

製造販売業者

Fisher & Paykel Healthcare 株式会社
電話番号 03-5117-7110

外国製造業者

Fisher & Paykel Healthcare Limited
フィッシャー・アンド・パイクール・ヘルスケア・リミテッド
ニュージーランド

[販売業者(販売店)]

取扱説明書を必ずご参照ください。